

各種相談先のご案内

行政、民間で、自死の遺族向けに相談を行っているところがいくつかあります。また、「こんな相談先はないでしょうか？」など、ご不明なことがあれば、会の者にお尋ねください。

自死遺族向け面接相談(無料)

○愛知県精神保健福祉センター

要予約 052-962-5377

毎月第3木曜日 午後2時-3時30分

○名古屋市精神保健福祉センターこころば

要予約 052-483-2095

毎月第3火曜日 午前10時-12時

法的なことでの相談

○全国自死遺族法律相談ホットライン

電話番号:050-5526-1044

受付時間:毎週水曜日(祝日を除く)12時から15時まで

自死遺族支援弁護団

<http://www.jishiizoku-law.org/>

自死遺族向け電話相談(無料)のご案内

自死遺族を支援するNPO法人「アフター・ザ・レイン」(名古屋市)

による電話相談 <https://aftertherain-japan.org/>

夜間電話相談: 毎週火曜日 22時から翌朝4時まで。

0570-017-222

8月7日 自死遺族によるネット座談会

第4回「スーカフェラジオ」のご案内

他団体からのご案内です。

以下のように「スーカフェラジオ」として、自死遺族によるネット上での座談会が行われます。よろしければお聞きください。

日時:2021年8月7日(土)14:00-15:00

対象:大切な方を自死で亡くされた方、自死遺族支援に関心のある方(18歳以上)

主催:スーカフェ名古屋 (<https://twitter.com/sucafe758>)

参加方法:Zoomウェビナー使用

事前申し込み不要。

右のQRコードのリンクからお入りください。

当日ニックネームとメールアドレスをお知らせください。



-感染への不安を減らすため、ご協力をお願いします-

- ・アルコールでの手の消毒など(アルコールは準備します)。
- ・マスクをお願いします(予備は受付で準備します)。
- ・トーキングスティック(話す人が合図として持つもの)を使わない形で行います。
- ・大きめの輪か、できるだけ弧に近い形にします。
- ・お茶など飲み物は各自ご持参ください。

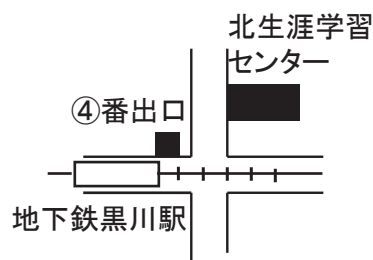
次回の遺族会

第104回

6月28日(日)13:15から

名古屋北生涯学習センター
地下鉄名城線「黒川」下車
(4番出口)よりすぐ

参加費:500円



その次は...

第105回

2021年8月1日(日)

※状況によっては中止・変更になる場合があります。直前にご確認ください。

日程は、ホームページまたは、電話案内でご確認いただけます。

パソコンの方

<http://will.obi.ne.jp/remember/>

携帯電話の方

<http://www.will.obi.ne.jp/m/>

電話案内(録音でのご案内)

090-8544-9408

新聞郵送をご希望の方へ

1月~6月末までのお申し込み(前期)…1000円

7月~12月末までのお申し込み(後期)…500円

詳しくはスタッフまで

スタッフ募集

遺族会に参加したことがある方で、会の活動のお手伝いをいただける方募集しています。
詳しくはお問い合わせください。

近隣の遺族会のご案内

以下中止・延期の場合もありますので、直前にご確認の上、お出かけください。

次回「ディアレスト」のご案内

家族ではないけれども大切な人を自死で亡くされた方を対象に、遺族会「ディアレスト (Dearest)」が開催されています。今回はオンライン(Zoom)で開催予定です。

日時：2021年7月25日 14:00 - 15:30

対象：家族以外の人(恋人・婚約者・パートナー・親友・同僚・上司・部下・先輩・後輩・先生・生徒、など)を自死(自殺)で亡くされた方

連絡先：the.dearest1@gmail.com

<http://dearest.heyajp>

次回「～こころの居場所～AICHI自死遺族支援室」のご案内

7月に予定していた「わかちあい」は中止となったようです。今後の日程は、ホームページ等をご覧ください。

連絡先：cocoroibasyo@yahoo.co.jp

090-4447-1840 <http://cocoroibasyo.org/>

次回「いっぶく処」のご案内

さまざまな宗派の僧侶の方が集った「いのちに向き合う宗教者の会」による、自死遺族のわかちあい「いっぶく処」ですが、今回は未定となっています。

また、「いっぶく処 お便り」として、会の担当の僧侶との文通によるやり取りを行っておられます。

次回の予定、文通方法など、詳しくは下記までお問い合わせください。

主催：いのちに向き合う宗教者の会

連絡先：info@inochi.in <http://inochi.in/>

その他、近隣の自死遺族のわかち合いの会

岐阜「千の風の会」・・・

問い合わせ：岐阜県精神保健福祉センター
058-231-9774

三重「わかちあいの会」・・・

問い合わせ：三重県こころの健康センター
059-253-7821

浜松「浜松わかちあいの会」・・・

問い合わせ：浜松市精神保健福祉センター
053-457-2709

その他、全国に自死遺族のわかち合いの会があります。詳しくはお問合せください。

りめんばー

少し関わりのあるNPO団体があり、その活動を紹介する記事が、先日ネット上に掲載されました。

その団体は、「私たちが担おうとしている役割は、相手の気持ちや思いを大切に受け取ること」(記事)とし、死にたいほどのつらい思いを抱えた人を支援するために、電話やメール相談の他、実際に集まることのできる居場所づくりを行っています。

4年ほど前になりますが、鉄道における自死を防止する趣旨のポスターが市内の駅などに張り出されたことがありました。ポスターの内容があまりに遺族を傷つけるということで、リメンバー名古屋が声をあげ、そのことに関する記事がネット上で取り上げられました。ネット上のサイトの目立つ位置にしばらくの間掲載されたこともあり、多くの人目に触れました。ネット上の記事には、一般の人たちがコメントを書けるしくみがあり、その時は何千もの、ほぼ否定的な意見ばかりが書き込まれました。ポスターよりも、一般の人々の反応に恐怖すら覚え、絶望的なつらい気持ちになりました。

最初に紹介したNPOの記事は、あまり大きくは取り上げられなかったのが幸いしたのか、コメント自体が数件しかなく、否定的なコメントがなかったことにはホッとしました。

記事の中に「あれもこれも試した結果、もう死ぬしか手段がない。その時にその最後の手段さえ『死んだらあかん』と取り上げてしまったら、その人はどうしたら良いのでしょうか」という言葉がありました。身近な者から「死にたい」と言われ、「死んだらあかん」としか言えなかった自分自身にとって、とても心に突き刺さる言葉です。

コメントの一つに、「聞いてくれるだけで救われる人はきっと沢山いる」というものがありました。自分自身、何年経っても解きほぐす術のない思いを、今ここで発信し、誰かに聞いてもらえていることは、自分にとっての救いなのかもしれません。

(KN)